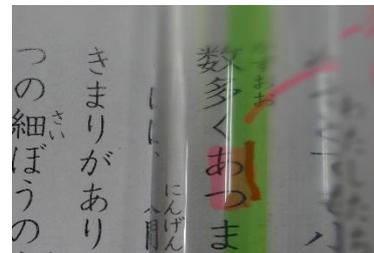


児童・生徒の実態

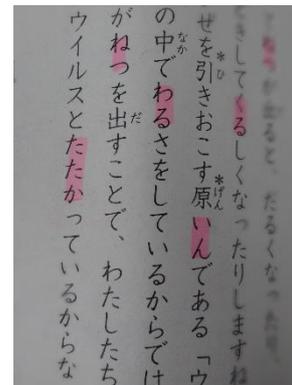
- ・ 視写において、行を飛ばしたり、原稿用紙のマス目から下にはみ出したりして書くことがある。

☆手立て・合理的配慮

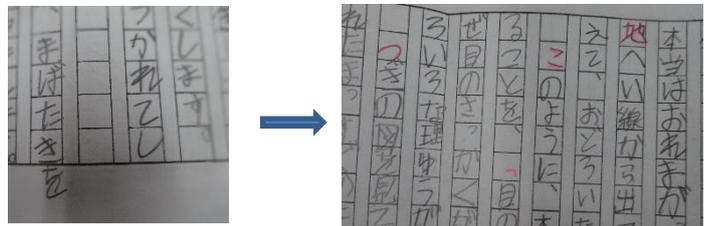
- ・ カラーボールペを使って、どの行を書いているか意識させる。



- ・ 漢字はある程度書けるので、本人の学力に合わせ、漢字に直してほしいところはマーキングする。



- ・ 段落の最初の一文字をマーカーで書いておき、書き始めの場所に注意を向けさせる。



支援を受けてみて

- ・ (本人、保護者) 行を書き飛ばすことがなくなった。また、原稿用紙の使い方を意識して書くようになった。